



2022年11月11日

各 位

会社名 株式会社メドレックス
代表者名 代表取締役社長 松村 米浩
(コード番号：4586 東証グロース)
問合せ先 取締役 藤岡 健
経営管理部長
(TEL. 03-3664-9665)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月10日に発表しました2022年12月期通期（2022年1月1日～2022年12月31日）の連結業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

2022年12月期通期における連結業績予想数値の修正

(2022年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	289	△1,002	△1,003	△1,006	△40.91
今回修正予想 (B)	359	△881	△900	△899	△36.06
増減額 (B - A)	69	120	103	106	
増減率 (%)	24.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	8	△1,061	△1,066	△1,059	△49.62

2. 修正の理由

売上高の増加について

年初から円安が大幅に進行したため、想定為替レートを変更いたしました。その結果、ドルベースの売上高の円換算額が増加し、売上高については前回（2022年2月10日）発表予想よりも69百万円増加しております。

なお、ドルベースの売上高については、チザニジンテープ剤 CPN-101 (MRX-4TZT) の開発進展によるマイルストーン収入を見込んでいるものであり、ライセンス先である Cipla Technologies, LLC (米国カリフォルニア州サンディエゴ) との今後の開発の進め方に関する協議が当期中に一定の進展を得られない場合は、見込んでいる売上高が計上されない可能性があります。詳細は、本

日公表した「2022年12月期第3四半期決算短信（3頁、＜開発コードCPN-101（MRX-4TZT）：痙性麻痺治療薬（チザニジンテープ剤）＞の項）」をご参照下さい。

費用の減少について

円安や米国インフレーションの影響を受けて米国での臨床試験単価は増大しましたが、当期（2022年1月1日～2022年12月31日）に実施予定であった臨床試験の一部について、2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）にずれ込む予定となったため、費用が減少しております。

利益については、売上高の増加及び費用の減少の結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ前回発表予想よりも赤字幅が縮小しております。

（注）業績予想につきましては、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上